



秋竹小 学校だより

第147号 平成27年1月20日

空に舞ひのぼるかろさの風花に

## ゲストティーチャーのみなさんに支えられて

学校では、秋竹小の先生以外の方にも、子どもたちはいろいろと教えていただいています。

14日(水)には、七宝給食センターの森田先生に、3年生は、どんな食べ方がよい食べ方なのかについて教えていただきました。「熱や力になるもの」「血・骨・肉になるもの」「体の調子を整えるもの」を、バランスよく食べることが大切です。4年生は、噛むことの大切さについて学びました。

また、15日(木)16日(金)と、2日間にわたって、3年生は、そろばんの学習をしました。まずは、そろばんを使って数を表す方法を学びました。最近では、そろばんを習っている子はあまり多くありません。少し苦戦しながら、でも楽しく学習しました。2日目になると少しなれてきたようです。簡単なたし算やひき算ができるようになりました。



【3色をバランスよく食べましょう】

【人差し指と親指を使って】



6年生は、19日(月)に租税教室を行いました。あま市役所税務課の方に来校していただき、私たちの税金がどんなふうに使われているのか、そして、税金がいかに大切であるかについて詳しく教えていただきました。

これは、毎年6年生が学習しています。いよいよ3ヶ月後には、中学生となる子どもたちにとって、実社会について学ぶ大切な機会です。今回の学びをこれから大人になったときにも、生かして行ってほしいものです。

## 休み時間の避難訓練は…

これまでの避難訓練は、全員が教室にいる時間(授業時間)に行っていました。今回は、担任の先生が近くにいなくても、自分の身は自分で守れるように、ということで、休み時間に行いました。しかも、事前に時間を知らせることなく、(実施することは、前もって知らせてあったのですが)突然非常ベルを鳴らして、訓練を実施しました。

さて、その結果は、…。運動場から、どこへ避難したらよいかわからず、困った顔でいる子や避難するときにおしゃべりをしてしまう子など、さまざまでした。しかし、災害はいつなんどき起こるかわかりません。必ず大人がいるとは限りません。子どもしかいない場合も考えられます。どんな場合も慌てず対応できるよう、普段から「おはしも(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)」を心に刻み、基本の行動を身につけておいてほしいと思います。～阪神淡路大震災から20年がたちました～



## インフルエンザにご注意を!

例年よりも流行が早いと言われている今回のインフルエンザは、すでに海部津島のあちらこちらで猛威を振るっています。秋竹小学校もその例に洩れず、インフルエンザに罹患する子が増えています。

3年生は、今日20日(火)から23日(金)まで、インフルエンザのために学年閉鎖となりました。他の学年でも、罹患している子がいます。風邪・インフルエンザの予防のために、教室では、うがい手洗いの励行をうながしたり、換気に注意したりしています。ご家庭でも、人混みを避ける、休養を十分にとる、マスクを着用するなど、予防に心がけてください。

